

P	D	C	A
<p>がん相談支援の理解促進策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会開催時に、参加者へ広報を行う</li> <li>・院内掲示物の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域緩和ケア連携会議(5/2)にて、院内外の専門職へ、がん相談支援センターの周知を図った。</li> <li>・がん相談支援センターを案内するリーフレットの内容充実を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の専門職に対して、がん相談支援センターが地域の資源であることを広報する機会となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん相談支援センターの周知の促進。</li> <li>・対象者別の周知方法を検討する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開業医訪問を実施しスムーズな受け入れにむけ連携を図る</li> <li>・口腔ケアパスについて上半期終了時点で件数の評価を行い、目標に対する達成状況の把握を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん地域連携パスの関係で、6件(うち4件は泌尿器科)の医療機関訪問を実施。</li> <li>・口腔ケアパスの上半期実績を確認。4件。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大腸がんと胃がんの地域連携パス上半期適用件数19件(昨年度1年間で36件)。</li> <li>・2022.8.1より、新たに前立腺がん術後地域連携パスの運用を開始(県の共用パス・成田日赤のパスを参考に、独自のパスを作成)。</li> <li>・前立腺がんの地域連携パス適用件数4件(2022.11.25時点)。</li> </ul>	<p>今後も、地域医療機関と連携し、パスの適用を進めていく。</p>
<p>QI研究の自施設独自の分析結果報告書を作成し、イントラネットにて公開する。また、がん診療連携拠点病院委員会で審議し、QI活動、改善すべきQI項目及び未実施理由のカルテ記載について、周知活動を行う。</p>	<p>6月にQI研究2018年について、当院の未実施理由を調査した「解析結果報告書」を作成し、イントラネットにて公開した。分析結果については、がん診療連携拠点病院委員会で審議をして、7月にQI項目の実施と未実施理由のカルテ記載について、院内周知を行った。</p>	<p>実施率が低い項目でも未実施理由がある場合を含めると、実施率は高い傾向にある。</p>	<p>引き続き、QI研究への参加と自施設へのフィードバックデータを用いて、自院の分析を行い、診療の質改善へ繋げていく。</p>
<p>募集時期での社会情勢によって柔軟に対応することで、研修会や講演会は極力開催を試みる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PEACEは11/23実施予定、ELNEC-Jは10/22-23で実施。</li> <li>・講演会6/22及び10/28にがんフォーラム実施。さらに年明けも継続して開催予定。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①今年度は数年ぶりに地域からの参加者を募って実施。ELNECは11名が地域から参加。</li> <li>②6月及び10月の講演とも、地域からの聴講があった。</li> </ol>	<p>次年度も圏域内の状況を見ながら継続する。</p>